

● はじめに

区民の皆様には、日頃より、区政の推進に御理解、御協力をいただきましてありがとうございます。

鶴見は、江戸時代のころには、鶴見川の川筋や旧東海道を多くの人々が往来するなど、古くから賑わいのあるまちです。昭和2年には、横浜市で最初の5区の1つとして区制施行され、日本の高度経済成長を支えてきた臨海部の産業とともに、就業者のための住宅地として、また、居住者・就業者の生活や利便性を支える商業地として、『商・住・工』の機能それぞれが密接に関連し、一体となって発展してきました。

鶴見区の人口は、現在、人口約 29 万人（市内 18 区中第3位）、世帯数約 14 万世帯（市内 18 区中第2位）にまで達しました。横浜市が発表した将来推計人口によると、市全体の人口ピークが 2019 年なのに対し、鶴見区の人口は 2042 年まで伸び続け、市内 18 区の中で最後まで人口の増加が続くと見込まれています。

今後も、区の運営方針に掲げました「笑顔と元気の輪が広がるまち『つるみ』」を目標に、「安心」「ぬくもり」「活力」を実感できるまちづくりを進めてまいります。

この「発見つるみ!データで見る鶴見区」は、人口や産業をはじめ、生活に関連する様々なデータをもとに、鶴見区の特徴を分かりやすくまとめたものです。これまでの鶴見、そして、これからの鶴見を考えていただく際の資料として、御活用いただければ幸いです。

最後に、発刊にあたり、貴重な資料を御提供いただきました関係諸機関をはじめ、御協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

平成 30 年 12 月 鶴見区長 森 健二

